



国家出版基金项目

國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

178

同文

國家圖書館出版社



國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

178

第一七八冊目録

昭和十六年(一九四一)調査報告(第三十八期生)

上海共同租界警察機構に就いて

上海公共租界的警察機構 古橋賢次

上海居留民團の沿革に就いて

上海居留民團的歴史 原田留吉

上海市中央市場に就いて

關於上海市中央市場 森五郎

事變後の北支鐵道に就いて

事變後華北鐵路 山根良男

合會の研究

合會的研究

稻野達郎

天津の工業に就いて

天津的工業

大森茂

四二九

北支の金融に就いて

華北的金融

森脇優登

五〇九

河北省を中心とする華北自動車交通に就いて

以河北爲中心的華北汽車交通

松本鎮夫

五六一

包頭に於ける當鋪の研究

對包頭當鋪的研究

荒木茂 森精市

六〇一

昭和十六年度

上海共同租界警察機構に就いて

上海調査班

古橋 賢次

目次

第一章

序論

第二章

上海共同租界沿革史

第三章

上海共同租界行政組織

第四章

上海共同租界警察の根據及びその組織

第五章

警察機構詳論

第一節 警視總部

第二節 警務課

第三節 刑事課

第四節 特高課

No. 2.

第十五節

交通課

第十六節

日文課

第十七節

教習所及び武裝豫備隊

第十八節

義勇巡査隊

第十九節

刑務所

第十節

警察番人制度

第十六章 結言

以上

上海共同租界警察機關
上海駐在

一) 序論

古橋

貢次

現在の上海人が非常な興味を以て見るのは租界の問題である其の中でも他の租界に比して上海共同租界は規模の莫大で其の複雑な莫大な最も日本の視聽を惹き、開港地もたれどものと云つても、だらう、其の同租界と言つてもその中にはあるゆる部門の機關を構成するがも、一小さな家の如き存在であり到底此の小説文

No.4

にては説き盡し得た、故に筆者は現在非常な進出を予測する警察部門に付て書えて見た。之因ふ尙参考書として野口謹次郎、渡辺義雄共著の上海共同租界工部局を使用した事を詳とせらむ
たゞ

次に共同租界の警察組織へ就き論ずるが、その各部機構の詳細なる説明に入ること先立ち、共同租界の沿革、その有する法規、或はその行政組織一般へ就えて概略述べて見た。此の事が共同租界警察問題の説明へ貢献する所大であるからである。

(二) 共同租界沿革史

一八四二年 阿片戰爭の結果南京條約とナリ 上海開港
 一八四六年 英租界の境界決定 縣界面積約一三八エーカー
 一八四八年 英租界ノハ西藏路まで擴張ナ面積四七〇エー
 カーとなる

一八五三年 警察隊組織ナ本警察總官クリーフーン以千九名考
 港上り招聘セヨ 中央署の建築敷地を河南路
 ハ決定ナ.

四月十二日義勇團結成セヨ

一八五四年 二月米國領事館虹口ハ開ルル米不旗玄揭揚ス.

No.6

一九〇六年六月三十日米司法院を開設	七月十日アルコック英領事會議長とし外事居留民大会を開催新土地章程承認さる
一八九九年七月共同租界拡張セラハ揚樹浦及心西郊地域に三八〇五エーカーを加ス	八月廿一日英米兩租界の併合なる
一八七六年義勇消防隊組織さる	一八七四年外人警察官總數一六四名
一八九九年七月共同租界拡張セラハ揚樹浦及心西郊地域に三八〇五エーカーを加ス	アメリカ租界の境界を設定す面積三〇九エーカ

No. 7.

一九一九年	義勇消防隊解散し工部局消防隊ナシ
一九二〇年	工部局諮詢機關にて支那人委員会を設くる 案納稅者大會を通過す
一九二六年	十月十日納稅華人會成立す
一九三七年	參事會に三名の支那人參事會員を増加する案 納稅者大會通過
一九三八年	八月支那人參事會員三名を五名へ増加 七月蘆溝橋に於ける日支兩軍の戰端爆发する
一九三九年	支那方面的口交衝突とする
一九四〇年	四月七日午總領事は工部局に対する抗口行つ

一九三九年

犯人取締、江蘇局警察察機構改革」を要求
二月古取締に関する諸要求を三浦總領事より
フランクリン公使事會議長へ提出。工部局側は此に同
意。軍側警察察力と租界内警察等との協力が好む
テロ取締協定成る

三月上海特別市政府傅市長より工部局當局長
上海守一特区地方法院の接收、土地台帳の返還、青
天白日旗掲揚禁止要求を申入る

四月租界の抗日言論機関の取締、青天白日旗掲
揚禁止を申入る

NO.9

五月澤田外務次官より就日英米兩大使に並び 三浦總領事より上海共同租界当局へ「土地章程の 改訂法院の接收」付書入呈す。	一九四〇年二月傅特別市長ミランクリン參事會議長ウ 向ふ滬西越界之路警察權に関する暫定取扱め 調印す。	(三) 上海共同租界行政組織 若同租界の政治に付れて間諗く言ふならば或一定の資格を有する納 稅者の意志に基く行はれるものであつてその意志は或は納稅者 大會を通じ或はその選出する參事會を通じて決定スルる也
--	--	--

の參事会は一種の議決機関であつて組員内に於て主地又は家屋の所有者若くは貸借者にて一定の資格を有する外人は參事会員の選舉に投票する事が出来る。かうして選出された參事会が政策の決定或は事業の遂行に當て行使する权限は廣汎且つ自由である。之は參事会のむく、自治的性質にもよるものであるが、又この共同組合が天津或は廣州と異り寧天家の監督下に服するものでなく、名の如く各不共同の共留地域である。如何なる一家とても特殊の权限を行行使することが出来ぬとする事情によよりるものである。此の參事会を監督する立場にあるのが領事團即ち支那と締約を有する各不の領事團として組織する團

體である租界に關係する政治、立法、司法、行政上の特殊事項
 は凡領事團の权限とみなされる。更に土地章程は年次納稅
 者大会及特別納稅者大会の召集、土地章程附則改正、
 開する認可、參事会を原告又は被告とする訴訟を處理す
 るき領事團裁判所の設置等凡て領事團の权限とみなされる
 此の外に土地委員会なるものが有る之は外國人借地人若くは夫那人
 土地所有者が道路その他公益の用に供する為の土地收用に應じた
 場合參事会が提訴する機関なのである。參事会の提訴を
 受けた後土地委員会は当事者につき審理を行ひ、補償すべ
 き場合には補償金額を決定するのである